



Light Up Rotary

第2780地区
大磯ロータリークラブ



2014～2015年度RI会長
ゲイリー-C. K. ホアン

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

★事務所：神奈川県中郡大磯町国府本郷546大磯プリンスホテル内 TEL：0463-61-1111(木) TEL/FAX：0463-36-2255

★例会：毎週木曜日 12:30～13:30 大磯プリンスホテル TEL：0463-61-1111 FAX：0463-61-6281

会長 守屋 紀忠

会長エレクト 片野 一雄

幹事 原 千明

第2292回 例会 平成26年8月7日 (晴) No.6

■司会：大藤 勉

■点鐘：守屋 紀忠

■合唱：君が代・奉仕の理想

◇プログラム ・8月14日：休会 ・8月21日：斎藤 好正さん ・8月28日：石山 智司さん

| ◇出席報告 | 例会 | 会員数 | 出席数 | 出席率 | メークアップ | 修正出席率 | ◇欠席者(5名) |
|-------|-------|--------|-----|--------|--------|--------|-------------------------|
| | 2292回 | 19(17) | 12 | 75.59% | — | — | 小林、宮澤、石山、原卓 斎藤(正) さん |
| | 2290回 | 19(17) | 11 | 68.75% | 1 | 75.00% | ◇メークアップ(1名) 宮澤さん |

◇入会式：田中敏治さん

出席報告：井上浩吉さん

◇一言：大磯の歴史

=統監道路は何故できたか？=

井上浩吉さん



今日は！ (有)田中秀雄商店の田中敏治でございます。今回は大磯ロータリークラブ入会を承諾頂きまして有り難うございました。今後大磯ロータリークラブの一会員として、頑張ってお返ししたいと思います。



若輩者ですが宜しくお願ひ致します。(拍手)

明治18年松本順が大磯に海水浴場を開設してから日本のトップ=閣僚をはじめ政・財会の超一流の人が大磯へ来て別荘を建てたのですが、伊藤博文も松本順の紹介で大磯に来た。初めのうちは駅の裏にあった長生館という旅館があり、此処に寝泊まりして東京に通っていたようです。何年かして滄浪閣を造りました。大磯駅から大分遠い。大磯駅から大磯小学校の裏を通って、白山神社からだらだら坂を登り、愛宕神社のところで1号線に出る。ところがひどい石ころ道で人力車もひどい振動で、車夫が滑るので石畳を敷いた。今の茶屋町公民館の前あたりにあるのがその石畳で、今以て残っています。



滄浪閣が完成し、伊藤博文は住居を大磯に移し、文字通り大磯の住民になりましたが、此処に面白い

話があります。当時伊藤さんは大磯に来る時、急行列車を使って来るんですが、なんと列車を大磯駅に止めないで、滄浪閣前に臨時停車させて、そこから滄浪閣にまっすぐに歩いて行くんですが、偶々夜に地元の人が見た情景が、「流石伊藤さんは大したもんだ、夜、伊藤さんが列車から降りてくると必ず周りに何匹かの狐火がいる。」と言う噂が出た。後にお付きの人に聞いたら、それは当時日本にはまだ無かった懐中電灯で足下を照らしていたと言う話でした。

そうこうしているうちに町の人が、伊藤さんが何とか急行を止めないでスムーズに來れないかというので、線路沿いに一本道を造った。これが統監道という名前が付いていますけれども、地元の人々の協力で伊藤さんのために造ったものが未だに残っております。

戦後統監道というのはよくない、伊藤さんが朝鮮を支配した人だから即刻名前を変えよという話が持ち上がったが、当時の風習であるから、あくまでも統監道であると言う事で今も残っております。

◇会長報告

守屋 紀忠会長

今月はお盆月です。先祖を敬う月であります。今は全国では墓石の不法投棄が多くあるそうです。墓所を管理する家族がないと言う事ですが、墓石を何かいい風に使えないものか？昔武將が城を造るのに墓石まで使ったそうですが、あまり良くないと思う。もっと気持ちを大事に清く使って貰いたいものだと思っています。

このところ雨が無く、熱中症が多発していますので、健康に注意して下さい。

田中敏治さん入会おめでとうございました。今後のご活躍を期待しています。

例会後モロキニで理事会がありますので、理事さんは出席を宜しく願います。

大藤さん：安土城に上って行く石段に墓石を使っている。信長は神も恐れぬ人だったということですね。



◇幹事報告

先ずは田中さん入会おめでとうございます。

7/26のなぎさの祭典協賛お礼挨拶が実行委員会から届いています。

回覧：

・ボーイスカウト運動へのご支援のお願い ・地区職業奉仕セミナー開催のご案内

・職業奉仕月間卓話者派遣について
例会変更：

平塚南、平塚西、寒川RC

・来週8月14日の例会は休会です。
・楽しく、気軽に皆様出席をお願いします！！

◇委員会報告

☆スマイルボックス

太田 知加子さん

・守屋 紀忠さん：片野さん、卓話よろしくお願います。田中さん入会、おめでとうございます。



・河本 親秀さん：田中敏治さんようこそ、入会おめでとうございます。心から歓迎します。片野さん卓話楽しいにしています。

・井上 浩吉さん：田中さん入会おめでとうございます。今後共よろしくお願致します。

・百瀬 恵美子さん：田中さん、入会おめでとうございます。片野さん卓話たのしみです。

・太田 知加子さん：片野さんの卓話楽しみです。田中敏治さん御入会おめでとうございます。これからよろしくお願いたします。

☆河本 親秀さん：今日配布の会報ですが、新しく入れ換えたコピー機(リコー製)についているプリンターで印刷しました。プリンターの設定がまだ上手く出来ておりませんので色調が撮った写真と少し違うので、これから調整して行きます。

10/2の例会に我が友好クラブのハワイ・ワイアナエ・コーストの会員であるケイ・バックスター、ジェレ・バックスター御夫妻が来訪され、30分の卓話をプロジェクターを使ってされますので楽しみにして下さい。

片野一雄さん



” 井戸浚い”

私は8月20日生まれで、夏は幾ら暑くても平気だなんて威張っていたんですけど、歳を取ると暑いのは身体に堪えます。

夏は暑いので、何か涼しい話をと…。今は水道ですが、私の子供の頃は皆井戸を使っていました。私の家にも井戸がありました。井戸は使っているうちに浅くなるので、1~2年に1回底を浚います。夏、水の少ない頃を見計らい、井戸の底に降りて、石の苔を取り、ゴミを拾い出し、手押しポンプで水を全部掻き出して綺麗にするのを見ていました。夏になるとその思い出が甦ってきます。水道が発達しても農耕民族として水を崇拝する気風が残っているのかなと思ひながら爺さん、婆さんと一緒に井戸浚い作業を見ておりました。何か神がかかっている、御神酒を持って行って、塩で払ってから作業をする。これが日本の国が世界と違って良い国だと言われるところの一つかなと思っています。

大磯は私の生まれ育った場所ですが、大磯に関する事を色々書いてみたいと思っています。その中で今途中で止まっていますが大磯の言葉について書いてみたい。漁師から出て来た言葉がメインですが、それに農家の言葉が重なってその土地の言葉になっている。高麗に高橋さんという方が居られて、その事を研究されていました。その著書を読みますとそうだなと思うことが多く書かれています。今度それを整理して卓話にしたいと思っています。

何故、関東言葉が流行っていったかという、日

本の徴兵制度で若者を集めて軍隊教育をした時の言葉が関東言葉であったと、ある言語学者が言っていました。神奈川、埼玉の言葉が中心となっていました。お巡りさんや鉄道員さんは東北弁が多いと言う特徴があります。言葉というものはそれぞれの土地で出来て行くものなので、言葉を研究する事はその地の文化を顧みると言う事になります。

“運” 友達と叔父と

歳を取ると自分が生きてきた道はどんなものであったかを考えるタイミングではないかと思ひます。先ず自分が生まれて来た時の一番古い記憶は何であったか？皆さんは4~5歳の頃の事と言われます。私にとって世の中の現象は科学では割り切れないことが一杯あります。例えば「運」だとか「出会い」とか…。昨日は広島原爆投下の日でした。昭和20年は藤沢の湘南中学校の2年生で勉強半分、工場の仕事半分の生活でした。そこに私の友人で川崎君というのがいました。親父さんは海軍の駆逐艦の艦長をしておられました。彼は「8月になれば転校しなければならない」と言うので、「何処へ転校するのか」、「広島だ」と言う。親父さんが艦長から広島での仕事に移ったので…。と言って8月の頭に広島に行ってしまった。その時偶然に入れ替わりに広島一中から若林君というのが一彼も親が海軍関係の子弟でした=が転校してきました。彼が来たのは8月1日でした。8月6日広島一中の生徒達は家の強制疎開の作業をしていて、8時15分のピカで全員死亡しました。この事は後で知ったことですが、その時若林が言うには「俺は悪い事をしたよ、自分がこちらへ来た事が川崎君を死なせてしまう事になったんだなあ…」。これは運命論ですが…。若林君は今東京工業大学の先生をして元気でいます。人間というのはアマダ籤みたいなもので右へ行くか左へ行くかで人生が変わってしまう。こんな事を体験しましたが、このような事は幾らでもあるんですね。

これも私の身内の話ですが隣に住んでいた叔父さんが兵隊に行き、中野の通信隊に属し、南京攻略の時に通信隊として従軍しました。南京が陥ちて除隊してから、また昭和16年に出征して南海支隊に入り、広島を出発してミッドウエーに向かう途中でミッドウエー海戦で海軍が大敗し、通信隊はガダルカナル島へ向かいました。ガダルカナル島には一木支隊が凄く自信を持って、米軍など一掃してしまうと意気込んで上陸したら待ち構えていた2万以上の米軍海兵隊によって全滅されてしまった。その為叔父が行く筈だったガダルカナルへも行けなくなってしまった。それで叔父はラバウルに上陸しました。ラバ

ウルと言うところは天国のようなところで、城塞の地下壕がしっかりしていた。当地には有名な今村均司令官が中枢にいて終戦まで頑張っていました。叔父は南京で亡くなり、ミッドウエーで亡くなり、またガダルカナルで亡くなるという事ではなかったかと思うんですが、運が変わっていっちゃうんですね！？それを超常現象というか人間が支配できない流れの中で、叔父は最期は自分の家の布団の上で大往生しました。そんな話を聞くと人生というのは色々な出来事が起こり、その中で人間というのは翻弄されてしまうのだなと、つくづく考えるようになりました。

やばいことがあっても悲観してはいけないし、抱えすぎてもいけないし、自然に従うのが一番良いのではないかと考える次第です。大磯ロータリークラブに入れて頂いて、色々な意味でプラスになっている事は事実で、それを発展させて、良いクラブに入って良かったなと言う印象を持って過ごして行きたいなと思っています。

以上

この後井戸神さんに敬意を表す仕来り、井戸浚いで先ず蠟燭やカナリヤで有毒ガスを検知する、井戸を埋めてはいけない等々井戸の話で盛り上がりました。